記者発表資料



令和５年８月７日

kamafusa dam 釜房ダム 国土交通省 東北地方整備局 釜房ダム管理所

仙台市の中学生が「一日ダム管理所長」に就任します。

～全日本中学生水の作文コンクール受賞者が業務体験！～

○ 全日本中学生水の作文コンクールは、「水の日」（８月１日）及び「水の週間」（８月１日～７日）の行事の一環として、次代を担う中学生を対象に広く水に対する関心を高め、その理解を深めることを目的とし、実施されています。（https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000010.html ）

○ 第４５回（令和５年度）において、農林水産大臣賞（優秀賞）を受賞された仙台市立郡山中学校３年生の辻井珠希（つじいたまき）さんに、記念として、釜房ダムの一日ダム管理所長を体験していただきます。※受賞作品は別添のとおり

➢ 釜房ダム一日管理所長体験

１．日　　時　　：令和５年８月１０日（木）１４時１０分～　（２時間程度）
２．場　　所　　：釜房ダム管理所（柴田郡川崎町大字小野字大平山１０－６）
３．スケジュール　：　一日ダム管理所長委嘱状交付式
　　業務引継（概要説明）
　　巡視船による湖面巡視（水質試験含む）
　　施設点検・巡視（監査廊～ダム堤体～操作室）
　　利水者WEB打合せ（土地改良区）　　など

※　出水等、災害の発生又は発生が予想される場合は中止します。


湖面巡視イメージ


施設点検・巡視イメージ

＜発表記者会＞：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会、仙南記者クラブ

問 合 せ 先

国土交通省

東北地方整備局　釜房ダム管理所
〒989-1505　宮城県柴田郡川崎町大字小野字大平山 10-6
電話　0224-84-2171（代表）
管理所長　　布宮（ぬのみや）　明道（あけみち）（内線 201）

農林水産大臣賞（優秀賞）

大好きな景色と水

宮城県　仙台市郡山中学校　三年　辻井　珠希

“水”と聞いてあなたは何を連想するだろう。どこまでも続く海の水、水道の蛇口から出る水、透き通った湖。世界には様々な“水”がある。そんな中、私が思い浮かべたのは、五月の見渡すかぎりに広がる水田だ。私の祖父母は農家。一面の田んぼは見慣れた景色で私はこの“田舎”と呼ばれる風景が大好きだ。田んぼは一年を通して様々な形状になる。稲作において水はとても重要。そのつながりを特に感じるのが五月に行われる田植え、そして水田だと私は思う。水田や水は稲作においてどんな役割をもっているのだろう。

まず、水田に張られた水には主に三つのはたらきがある。

一、稲を寒さから保護する。水には「熱しやすく、冷めにくい」という性質があり、気温が低くなっても水の中は温かい環境となる。稲は熱帯で生まれた作物なので、気温が低くなると冷害の被害を受けやすい。水が温度調節をしてくれることで稲を冷害から守れるのだ。

二、雑草、病害虫の発生を抑える。田んぼに水が溜まっていると、土の中は酸欠状態になる。この状態では多くの雑草の種子が呼吸できず、芽を出すことができなくなる。また作物に悪さをする病害虫も、水が張ってあると棲みづらい環境となるため数が少なくなる。

三、連作障害をなくす。同じ土地で同じ作物を毎年育てていると、病害虫などの被害を受け、収穫量が減ってしまうことがある。水を溜めることで、不足しがちな微量要素の補給ができたり、逆に過剰な成分は水が流し出してくれる。また、二つ目のはたらきで言ったように、病害虫の被害を防ぐこともできる。

このように、水田に張られた水には、多くのはたらきがある。水があることで安定して、おいしいお米を作ることができるのだ。そして水田にはお米をつくる以外にも隠しもった三つのすごいはたらきがあるのだ。

一、水のろ過。水田に入った水は、地下に浸透し、土の中のパイプのような水路を通る。この間に、ゴミなどは土の表面で、もっと細かい不純物は土の中で取り除かれてきれいな水になる。

二、洪水を防ぐ。水田の周りにはアゼという、水田と水田の間に土を盛り上げてつくった小さな堤があり、このアゼがあるために水が溜められる。アゼに囲まれた田は大雨のときに雨水をため、その後ゆっくり川に流す。田んぼは、ダムのようなはたらきもするのだ。

三、さまざまな命を育む。水田には、バッタ、トンボ、カエル、タニシ、メダカなど、多くの生き物がいる。堆肥などの有機物を分解する微生物が繁殖し、それを小魚が食べ、小魚を水鳥が食べる。クモや昆虫をカエルが食べ、そのカエルをヘビが食べ、そのヘビを猛きん類が食べる。この「食物連鎖」によって水田では多くの生き物がつながり合って生きている。

今回は水から一面に広がる水田を連想し、そこから水田に張られた水の役割や、水田の意外な一面などを知ることができた。普段見ていた水田の水にこんなにたくさんのはたらきがあることにすごく驚いた。水田にも、お米を育てるだけでなく、自然への貢献があると知り、多くの人が“田舎”と言っていやがる景色にこんなすごいはたらきがあることを知ってほしいと思った。水が透明なのは水を通して物事を見ることで沢山のことに気付くことができるからではないか。みんなにも普段近くにありすぎて意識しない水を通して物事を見てみてほしい。近くにありすぎて、当たり前、とさえ思わないものにも意識を向けて生活することで少しずつ社会は変わっていくのかなと、私は思った。

【別紙】　　東北地方整備局　釜房ダム管理所

釜房ダム一日ダム管理所長体験（実施日：８月１０日）　取材申込書

・取材を希望される報道機関におかれましては、下記送付先までFAXでお申し込みください。
・取材にあたっては、腕章の着用をお願いいたします。
・当日１４：１０頃から「一日ダム管理所長委嘱状交付式」を行います。交付式から取材される場合は、１４：００までに釜房ダム管理所３F事務室前にて受付をお願いいたします。

申込期限：８月９日（水）１５：００まで

１．報道機関名（会社名及び部署名）

２．氏名

３．連絡先（連絡可能な携帯電話等）

送付先　FAX：０２２４－８４－４４９０
（東北地方整備局　釜房ダム管理所　あて）